

「高松 Winter Festival」イベント

代表者 坂上晴紀（経済学部経営システム学科3年）

1. 目的と概要

このプロジェクト事業はこれまで30年間開催してきた「高松冬のまつり」終了にともない、これまで行われていたものではなく新たなものとして開催することを目的にたてたプロジェクト事業です。

高松の冬を彩り、中心市街地が賑わうものであるという地域振興と次世代に引き継いでいく魅力あるものであるという継続の2つの側面からプロジェクトを進めていきました。

イベント内容はメインステージである「高松コレクション」とそれを彩る形でたくさんのお音楽系サークルにステージを披露していただきました。

メインステージである「高松コレクション」は地元商店街や地域企業の広告を担うモデルを選出するランウェイでのファッションショーを行いました。

2. 実施期間（実施日）

平成29年12月9日から 平成29年12月10日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

■日程

平成29年12月9日（土）

昼の部 12:00～16:00

イルミネーション点灯式 16:30～

夜の部 16:30～20:00

平成29年12月10日（日）

昼の部 11:00～16:00

夜の部 16:30～20:00

■場所

高松市丸亀町壺番街前ドーム広場

香川大学学生支援プロジェクト

高松コレクション
広告モデル

2018
ミス・ユニバース
香川大会出場者

イルミネーション
点灯式
12/9(土) 16:30～

香川大学
四国学院大学
音楽系サークル
集結

12月9日(土)

12月10日(日)

場所：高松市丸亀町壺番街前ドーム広場

主催：香川大学高松冬恋まつり実行委員会
共催：丸亀町商店街振興組合
協力：高松市学生実行委員会

高松コレクション出場者大募集
詳しくはfacebook「高松冬恋まつり」で

QRコード

メインステージは、高松コレクション 2017です。地元商店街や地域企業の広告、広報を担うモデルの、ランウェイでのファッションショーです。丸亀町商店街の方とともに高松のムーブメントをつくっていきたいという思いから企画したファッションショーのため、周囲のお店を中心に衣装・賞品のご協力をいただきました。ウェディングドレス、タキシードといった貸衣装、洋服、小物・装飾品をお借りしたお店のPR、美容室、メガネ・サングラス、小物、食事券等の商品提供を頂いたお店のPRを、イベントの合間に行いました。たくさんのお店が快くご協力下さいました。1部はカジュアルスタイル、2部はフォーマルスタイルと、雰囲気をはらりと変えて、2部構成のファッションショーを行いました。



ステージイベントでは、2日間香川大学の学生を筆頭に約20チームが出演して下さいました。主なものとしては、本学各音楽系サークルによるコンサート、医学部アカペラサークル、本学ダンス部、四国学院大ダンス部によるダンスステージ、メルシー笑クラブによるマジックショー、高松第一高校合唱部、地元社会人バンド等です。屋内イベントとして、カルチャーホールでも、軽音Bee、TAKE-Vなどが演奏して下さいました。J-POPからフォークソングまで多様な音楽、また音楽以外にマジックやダンスなど様々なジャンルのステージをつくることができました。クリスマス間近ということで、クリスマスソングを披露して下さいる団体もありました。このほか、ステージイベントに2018ミスユニバースジャパン香川大会出場者も駆けつけて下さいました。



(イベント当日の様子)

ライトアップとして、ドーム広場の中央に置かれたメインツリーの点灯式を行いました。メインツリーはゴールドを基調とし、雪のモチーフがあしらわれたもので、日本一の高さを誇るクリスタルドームを普段以上に幻想的な空間に彩りました。この際、香川大学アカペラサークルえいおんに演奏していただきました。

実施中に、アンケート調査をした結果、多くの来場者の方々、商店街のみなさんや参加団体の方々から、街中での本イベント、イルミネーションの復活を望まれていることがわかりました。来場者が一緒になって唄ってくださる場面もあり、子ども連れや家族連れの方々にも喜んでいただけました。中には、ステージ前だけでなく2階から見下ろす形でご覧になっている方もいました。商店街や地域の方々から多くのエールをいただきました。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を通して選考したモデルの方には1年間地元企業や商店街の広告を担ってもらいます。現時点で高松こまちさんとお話を進めている状態で香川大学の名を掲げて地元を盛り上げていきたいと考えています。与えられる影響としては、広告モデルを行うことによって地元企業や商店街の宣伝になり、さらには香川大学自体の宣伝にもつながると考えています。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

このプロジェクト事業を通して自分たちの学生生活に与えた影響や効果は、大きく2点挙げることが出来ます。1つ目は学外でのフィールドワークを通して通常授業では得られないものが体験できたこと、2つ目は自主的に学び、自ら考えを人に伝えることができるコミュニケーション能力を身に付けることが出来たことです。

1つ目の点では郊外の大型商業施設とは違う商店街の取り組みに直に触れることで学ぶことが出来ました。また、丸亀町商店街様や高松市役所様とお話させていただくことで、商店街と地域行政の連携や取り組みを学ばせていただきました。さらに、商店街の抱える問題（商店街内での格差）や、生の地域課題について学ぶことが出来ました。

2つ目の点では商店街様や地元企業様にご協賛をお願いするに当たってイベントの趣旨説明や協力依頼をすることによって対人能力を身に付けることができたと感じています。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

当初は、少人数のメンバーで、どこまでクオリティを高めたイベントを成立させられるのか不安な部分もありました。商店街や地域の方々には、多くのご迷惑をおかけしたにも関わらず、温かく見守って下さったことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

「高松冬のまつり」の復活を願って、歴史に残る、また感動を覚えるようなものを、

そのきっかけになればと実施した今回のイベントです。イベント実施期間中に行ったアンケート調査から、街中での本イベント、イルミネーションの復活が望まれていることが分かるように、その気運が高まることを願って、次に繋げて行きたいと思います。

今回の高松冬恋まつり2017高松コレクションにおいて、6名の広告モデルが決定しました。選ばれた広告モデルは、これから1年間、高松市中央商店街や地元香川の企業様を元気にするために、企業様の広告ポスターや動画等PR用広告媒体制作時のモデルを担います。また地域での諸行事においての宣伝モデルとしても活躍していただきます。この広告モデルを次への起点として、今後も高松を盛り上げる冬のイベントの継続、発展を目指していきたいと考えます。

7. 実施メンバー

代表者	坂上 晴紀（経済学部3年）	
副代表者	笠井 翔太（経済学部3年）	中村 綾花（教育学部3年）
構成員	福田 咲穂（法学部4年）	佐野 実怜（経済学部2年）
	横田 真衣（経済学部2年）	